

2019年5月7日
マルホ発條工業株式会社

マルホ発條工業株式会社と大阪大学 共同研究講座の開設について
—医療機器デバイス開発支援のためのシミュレーション技術の確立に向けて—

弊社は、本年4月1日に大阪大学との共同研究講座を設置しましたのでお知らせいたします。

【講座開設の目的】

医療機器やデバイスは用いられる箇所等が多様であるため、その解析や設計シミュレーションを行うには高度なカスタマイズが不可欠となっています。

今回開設する共同研究講座では、医療機器メーカーが顧客の要求を満たす医療デバイスを「早く、安価に、かつ理論に裏打ちされた状態で」供給するために多様な医療機器の飛躍的な性能向上や高品質な精度要求に応える、生体力学に裏打ちされた数値シミュレーションによる設計・開発システムの確立を目指します。

【講座開設の経緯および必要性】

マルホ発條工業株式会社は、微小精密ばねの技術を基礎として医療機器部品事業を展開しており、医療機器デバイスの開発製造販売に実績があります。これまで、精密ばね開発製造の経験に裏打ちされた優れた試作能力により多くの製品開発を成功させておりますが、今後の更なる展開を図るために、医療機器デバイスの設計最適化に向けての方策を模索しております。

特に、今後到来する超高齢社会において元気で健康的な日常生活を持続可能とするために医療機器デバイスの高機能化もその一翼を担うことが期待されています。そのためには開発製造を支えるエンジニアリングならびにその基礎科学からの強化が不可欠となっております。

マルホ発條工業株式会社は、エンジニアリングサイエンス研究を推進する大学との連携を通じて医療技術および医療機器の高度化を支えることにより、ものづくりの立場から社会に貢献してまいります。

【共同研究の概要】

共同研究講座名： 医療機器デバイス開発支援計算工学共同研究講座

共同研究代表者： 大阪大学大学院基礎工学研究科 田中 正夫教授

共同研究推進担当： 大阪大学大学院基礎工学研究科 村瀬 晃平特任教授

本件に関するお問い合わせ先

マルホ発條工業株式会社 医療機器開発企画部長 上村 (0771-63-5082)